

# 認 定 書

国住指第741号  
平成30年6月22日

フネンアクロス株式会社  
代表取締役 深堀 光二 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の25第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第129条の2の5第1項第七号ハ（防火区画貫通部1時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060WL-1000
2. 認定をした構造方法等の名称  
繊維混入セメントモルタル被覆硬質ポリ塩化ビニル管／シーリング材充てん／壁準耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名：

繊維混入セメントモルタル被覆硬質ポリ塩化ビニル管／シーリング材充てん／壁準耐火構造／貫通部分

## 2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項目		仕様
開口部	形状	円形(φ269mm以下)
	面積	0.0568㎡以下
配管と壁との隙間寸法 (クリアランス)		5～12mm
占積率 (開口面積に対する配管断面積の総合計の割合)		92.4%以下
貫通する壁の構造等		建築基準法施行令129条の2の3第1項第一号ロの規定に基づく準耐火構造(60分)(ただし、軽量鉄骨下地に限る)又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく耐火構造(60分) 厚さ 100mm以上

## 3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

項目	仕様	
充てん材	材料	シリコーン系シーリング材 (JIS A 5758)
	充てん量	隙間に密に充てん (壁両側に300g/m以上)

表3 配管の仕様

項目		仕様		
配管 (排水管)	直管 (耐火二層管)	材料	繊維混入セメントモルタル	
		形状	円筒	
		組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント	75(±7)
			無機質混和材・軽量骨材	21(±6)
			有機質繊維	4(±1)
			但し、無機質混和材： 非公開 無機質軽量骨材： 〃 有機質繊維： 〃	
	密度	非公開		
	寸法	近似外径	φ37～φ245mm	
		近似厚さ	5.5～8.5mm	
	表面処理材	材料	あり又はなし アクリル樹脂系	
		質量	非公開	
	内管	材料	種類：①又は② ①硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、JIS K 6742) (VP、HIVP又はVU) ②耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6776) (HT)	
寸法		寸法	φ216mm以下	
		厚さ	11.0mm以下	
空間成形材	形状	シート又はリング		
	材料	あり又はなし ①～④の一又は組み合わせ ①合成樹脂 ( 非公開 ) 厚さ：非公開 ②発泡プラスチック ( 非公開 ) 厚さ：非公開 ③合成樹脂張多孔質材：1)～4)の組み合わせ 1)アクリルメラミン系樹脂 (あり又はなし) 厚さ：非公開 2)片面アルミニウムはく張ガラスクロス (あり又はなし) 厚さ：非公開 3)遮音シート：塩化ビニル樹脂シート ( 非公開 :あり又はなし ) 密度：非公開 厚さ： 〃 4)吸音材：a)又はb) a)軟質ポリウレタンフォーム再生材 密度：非公開 厚さ： 〃 b)ポリエステル樹脂フェルト ( 非公開 :あり又はなし ) 密度：非公開 厚さ： 〃 ④人造鉱物繊維保温材 (JIS A 9504) 密度：非公開 厚さ： 〃		

4. 構造説明図：  
 構造説明図を図1に示す。

単位 mm

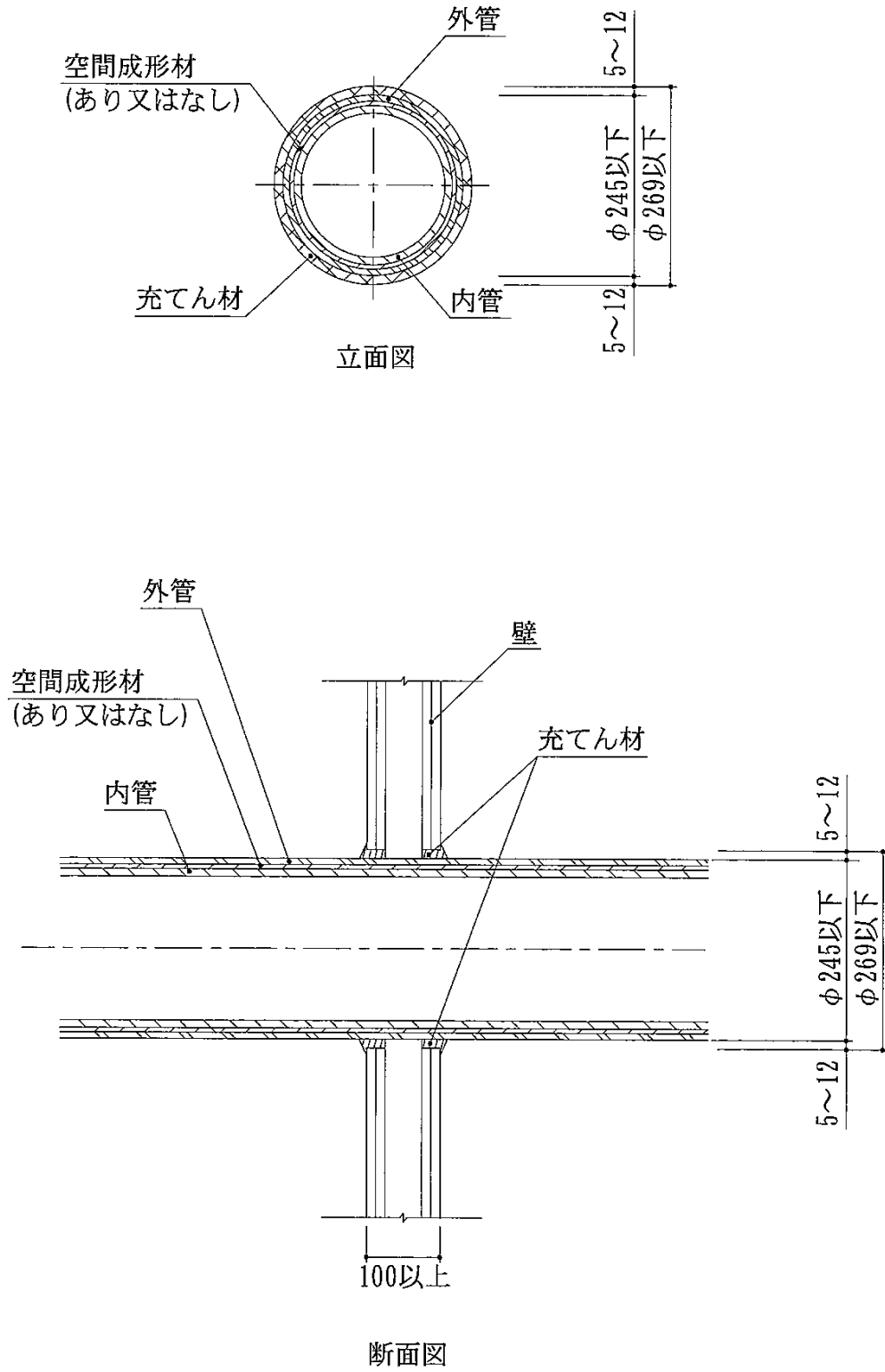


図1 構造説明図

5. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口面積、占積率の確認

配管図に基づき配管の設置状況及びサイズを調べ、開口面積・占積率を確認する。

(2) 配管の設定

直管を所定の位置となるように設置する。

(3) 貫通部の埋戻し

配管と開口部の隙間に充てん材（シーリング材）を密に充てんする。必要に応じて、表面に盛り上げ施工とする。